

令和 4 年

第 10 回 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

令和 4 年 10 月 6 日

水 戸 市 教 育 委 員 会

令和4年第10回教育委員会定例会

1 開催日時 令和4年10月6日(木) 午後5時00分 開会  
午後5時36分 閉会

2 開催場所 水戸市役所 4階 中会議室4

3 出席者 教育長 志田晴美  
委員 富田教代(教育長職務代理者)  
委員 篠崎和則  
委員 丸山陽子  
委員 鬼澤真寿

4 欠席者 なし

5 説明のため出席した職員の職, 氏名

教育部長	三宅修
総合教育研究所長	春原孝政
参事(県費負担教職員担当)	鴨志田泰
参事兼教育企画課長	菊池浩康
参事兼学校保健給食課長	小川佐栄子
参事兼歴史文化財課長	小川邦明
学校管理課長	細谷康之
学校施設課長	和田英嗣
生涯学習課長	湯澤康一
中央図書館長	林栄一
教育研究課長	野澤昌永

6 傍聴人 なし

7 本日の日程

(1) 報告

① 令和4年第3回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について【公開】

(2) 議事

議案第36号 専決処分に対する意見について【非公開】

(3) その他

① 特別展「昭和ラプソディ 一杯の珈琲を飲みながら」の開催について【公開】

## 8 会議の概要

午後5時00分 開会

**○志田教育長** ただいまから、令和4年第10回教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、先の市議会定例会において同意をいただき、令和4年10月1日付けで任命されました鬼澤真寿委員から一言、御挨拶をお願いいたします。

**○鬼澤委員** この10月1日より、教育委員として、その任を受けました鬼澤真寿と申します。

私は、今年を入れて3年前、ちょうど新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休業のあった年の3月に退職いたしまして、今は茨城大学でお世話になっております。

今日、市長とのお話の中でも、今は教員になる人間が少なくなっていると話していましたが、その分、もしかすると市役所や県庁の公務員を目指す人間が増えているのかもしれませんが、ぜひ教員になっていただける人も増えるとありがたいなと思います。

教員という仕事は本当にすばらしい仕事であるということは、皆さんは十分、教育委員会の仕事に携わっていらっしゃるって、御理解いただけていると思いますので、水戸市の先生方が気持ちよく仕事をして、なおかつ水戸市の子どもたちが様々な方面で活躍できる、そして最後にはまた水戸に戻ってこられる、そういう水戸の教育を踏まえて、人材育成のほうでも少しでもお力になればと思っています。

どうぞ今後ともよろしくをお願いいたします。

**○志田教育長** ありがとうございます。

それでは、教育委員会会議に出席の職員から順に自己紹介をお願いいたします。

**○三宅教育部長** 教育部長の三宅でございます。よろしくお願いいたします。

**○春原総合教育研究所長** 総合教育研究所所長の春原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

**○鴨志田参事** 教育部参事の鴨志田です。どうぞよろしくお願いいたします。

**○菊池参事兼教育企画課長** 教育企画課長の菊池と申します。よろしくお願いいたします。

**○小川参事兼学校保健給食課長** 学校保健給食課長の小川でございます。よろしくお願いいたします。

**○小川参事兼歴史文化財課長** 歴史文化財課長の小川でございます。よろしくお願いいたします。

**○野澤教育研究課長** 教育研究課長の野澤でございます。よろしくお願いいたします。

**○細谷学校管理課長** 学校管理課長の細谷でございます。よろしくお願いいたします。

**○湯澤生涯学習課長** 生涯学習課長の湯澤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○和田学校施設課長** 学校施設課長、和田と申します。よろしくお願いいたします。

**○林中央図書館長** 中央図書館長の林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○神長教育企画課課長補佐** 教育企画課課長補佐の神長と申します。よろしくお願いいたします。

**○石井教育企画課総務係長** 教育企画課総務係長の石井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○石川教育企画課企画係長** 教育企画課企画係長の石川と申します。よろしくお願いいたします。

**○黒沢教育企画課主事** 教育企画課企画係の黒沢と申します。よろしくお願いいたします。

**○志田教育長** ありがとうございます。

鬼澤委員、よろしくお願いいたします。

**○鬼澤委員** こちらこそよろしくお願いいたします。

**○志田教育長** それでは、初めに、教育長職務代理者の指名についてでございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項で、「教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行う。」と定められております。

このたび、教育長職務代理者であった東小川委員が、令和4年9月30日をもって任期満了となりましたので、この法律に基づき、令和4年10月1日付けで冨田委員を教育長職務代理者に指名させていただきましたので、よろしく願いいたします。

また、会議録署名人についてでございますが、水戸市教育委員会会議規則第16条第2項の規定に基づき、会議録には、教育長及び会議で決めた委員1名の署名が必要となります。

つきましては、会議録の署名は、引き続き、教育長職務代理者をお願いしたいと思いますので、御了承のほどよろしく願いいたします。

なお、教育長職務代理者が会議を欠席された場合は、ほかの委員から決定をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

次に、非公開とする案件についてお諮りいたします。

本日の案件のうち、議案第36号につきましては、非公開の取扱いといたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○志田教育長** 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、初めに報告を行います。

報告(1) 令和4年第3回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について、説明願います。

三宅教育部長。

**○三宅教育部長** それでは、資料の1ページをお開き願います。

報告事項(1) 令和4年第3回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について、御説明いたします。

初めに、1の会期でございますが、9月5日から28日までの24日間でございます。

2の本会議の状況につきましては、4会派、2議員から発言通告がございました。

質問及び答弁内容につきましては、学校教育部門では、教員のICT化への対応についての質問や部活動についてなど6項目6件、社会教育部門では、子どもの読書離れについての1件でございます。

主なものについて御説明をさせていただきます。2ページをお開き願います。

教員のICT化への対応についての御質問に対しましては、学校における端末活用に当たっては、まず教員のICT活用に関する操作スキルが重要であると捉え、民間企業から講師を招いての研修やICT支援員等による校内研修などの実施により、多くの教員において操作スキルの向上が図られたものの、定着が不十分と感じている教員がいることから、個別の教員に対してICT支援員を派遣し、その課題を聞き取りながら対応するなど、きめ細かなフォローアップを行い、教員が一定の操作スキルを身につけられるように努めていること、さらに、ICTを活用した授業力に差があることから、指導主事が各学校を訪問し、実際に授業を見て、個別の教員に対し具体的な授業の進め方やICT機器の効果的な活用場面・活用方法について指導をし、授業力の向上を図ることにより、児童生徒の学習内容の理解や定着に努めていることなどについて答弁をしております。

次に、3ページの中学校の進路指導についての御質問に対しましては、本市の中学校の学習指導については、特に中学3年生においては、生徒を希望進学先へ合格させるために、昼休みや放課後

の時間を活用して、不得意な教科や分野に特化した課題を与え、教師と生徒がマンツーマンで、苦手教科の克服や得意教科をさらに伸ばすことを目指した学習会を実施するなど、徹底した個別指導を行っていること、また、進路指導については、中学1年生より段階的に、一人一人の将来の夢や希望の実現に向けて指導をしており、中学3年生においては、中学校卒業後の進学先などについての個別面談や、進路に対して不安を抱える生徒には、親身になって相談を受けるなど、生徒一人一人の思いに寄り添った丁寧な進路指導を行っていることなどについて答弁をしております。

続きまして、6ページをお開き願います。

部活動についての御質問に対しましては、本市の部活動の地域移行に向けた取組状況について、令和3年度、国の地域運動部活動推進事業を他市町村に先駆けて実施し、モデル校である双葉台中学校において、5つの部活動で、事業の運営団体であるNPO法人から、専門性の高い指導者の派遣を受ける実践研究を行い、今年度は、その取組を県が地域移行のイメージ動画として作成し、広く周知・共有する予定であることや、これらの取組を踏まえ、新たに、陸上競技、軟式野球、バレーボールの3つの運動部活動において、生徒の自主的な参加により、専門的な指導者から技術指導を受けるスポーツ教室を12月と1月の休日に、それぞれの競技において2回程度開催し、休日の部活動を休みとする予定であることなどについて答弁しております。

続きまして、8ページをお開き願います。

フッ化物洗口についての御質問に対しましては、虫歯の予防効果があると言われていたフッ化物洗口は、集団で行うことにより、各家庭環境によらない公平な虫歯予防の機会の提供につながるものであることから、茨城県では、今年度、全市町村において、各1校以上で実施するよう、事業の拡大を図っており、本市においても、水戸市歯科医師会と養護教諭との研修会を開催するなど、研修や情報交換の場を設けるとともに、モデル校の選定に当たっては、学校の実情を十分に考慮し決定していくことや、保護者の意向や児童本人の意向によりフッ化物洗口を行いたくない児童への対応については、強制的に実施するものではないため、保護者への丁寧な情報提供や説明を行った上で、保護者の同意を得て実施すること、また、教職員の業務増にならないよう、可能な限り、養護教諭等の業務の増加を抑えられる実施方法を精査することや、週1回のフッ化物洗口の実施時に児童への指導を支援していただくことなどについても、水戸市歯科医師会などの関係機関に要望していくことなどについて答弁をしております。

そのほか、詳細につきましては、お目通しをいただきたいと思います。

説明は、以上でございます。

**○志田教育長** それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

丸山委員。

**○丸山委員** 2ページの「個別の教員に対してICT支援員を派遣し」というところなのですが、これは教員の方から要望があったときに派遣されるのでしょうか。また、実際にどれぐらいの頻度で派遣されているのでしょうか。

**○志田教育長** 春原総合教育研究所長。

**○春原総合教育研究所長** ICT支援員につきましては10名配置しておりまして、今年度の活用につきましては、7月末の時点で、延べ1,289件、学校に派遣しております。

主なものとしましては、授業の支援が多く、先生方が授業でこんな活用をしたいのだという相談に対しての支援、それから、研修支援も行っておりまして、先生方にミニ研修というような形で、ICTの様々な活用についての研修でも派遣をしておりまして、積極的に活用させていただいてお

ります。

○志田教育長 丸山委員。

○丸山委員 1,000回を超える回数ということで、とても活発に機能しているのだということが分かりました。

○志田教育長 ICTに慣れている教員とそうではない教員がいますので、全員にスキルを定着させることが課題だと思っております。

また人事異動によって、他の市町村から転入してくる教員と、水戸市から転出する教員がいるので、市町村ごとの状況によっては、また一から支援をやり直さなければなりません。

そのため、浸透するには少し年数がかかるかと思えます。

篠崎委員。

○篠崎委員 部活動のことについてお聞きしたいのですが、地域移行や専門的な指導ということで、先生方の働き方改革にもつながっていて、これ自体はいいと思うのですが、昔と比べて生徒の数が減って、一番多いときと比べて、おそらく半分以下や3分の1程度になっている中で、部活動自体が成り立っているのかどうかという心配と、私が中学生ぐらいの頃は子どもが多くて、たった5人しかレギュラーになれない部活に100人ぐらいの生徒がいたり、それはそれで問題だったのですが、そのため、部活動を増やして、新しい部を作ったり、文化部も増えて、選択肢はたくさんあったのです。しかし今は、子どもたちの選択肢も少ない、運動の苦手な子の行き場があまりないと聞きますが、そういう点で、子どもが減ったゆえに起きている問題や、現場で感じていることについて、お聞きできればと思います。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 水戸市の場合は、子どもの数が緩やかに減少しておりまして、部活動につきましても、学校によっては部員数が少なくなって、学校単位では成り立たないような状況の部活も散見されます。

現在の対応としましては、例えば、合同部活動のような形で、近隣の学校の部活と合同で実施をすとか、拠点校部活として、複数の学校が集まって活動を行う取組を進めているところです。

○志田教育長 篠崎委員。

○篠崎委員 そうすると、試合も合同チームで出ることがあるのですか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 公式大会につきましても、部員数が少なくて成り立たないという状況での合同部活動の場合は、合同チームで出場することができます。

○志田教育長 富田委員。

○富田委員 2ページの、ICTを活用した授業というのは、全科目という理解でよろしいのでしょうか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 教科に関しましては全校の全教科で取組を進めております。ICTを必ず使わなければいけないということではありませんので、本当に効果的に学習が進められる場面で活用するようにしています。

学校訪問などをさせていただきますと、本当にどの学校も積極的に活用している状況です。

○富田委員 それと、もう一つ、3ページのところで、学習会を実施するとありますが、これは全中学校なのか、あとは総授業数が分かれば教えていただきたいと思えます。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 こちらにつきましては、義務教育学校を含めて市内16校ある全ての学校で同じように取り組んでいるかということ、学校の実情に応じて違いはあります。私たちが確認している範囲では、昼休み等に多目的スペースのような場所に、子どもたちが集まってきて学習をしたり、朝の活動の時間を一部、補充学習のような時間に充てていたり、各学校で工夫して、時間の隙間を見つけて学習支援に取り組んでいるという状況でして、ほぼ全ての学校で取り組んでいると思います。

○志田教育長 富田委員。

○富田委員 補習とか、そういうイメージではないのですね。何となく私は土日などを使って行うというイメージになってしまったのですけれども。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 土日に集めてというようなことはないです。

○志田教育長 富田委員。

○富田委員 学校の時間内でのということですね。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 学校の時間の中の間隙を見つけて、個別に指導をしているというような状況です。

○志田教育長 富田委員。

○富田委員 分かりました。

去年の入試で、この取組の成果というのは出ているのでしょうか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 中学3年生の高校への進学につきましては、一昨年度と比較しまして、市内の高校に進んでいる率は、ほぼ同じぐらいだと捉えています。

○志田教育長 水戸市には人気の高い高等学校が集中しているので、できるだけ希望校に行けるように、教育委員会も学校の現場の先生も望んでいます。

水戸市にある高等学校なのだから、少なくとも人気校である高等学校については、水戸市の公立の中学校を卒業した生徒が一番多く進学できるようにしなければならないと思っています。

しかし、実際問題として、希望校までの学力に達していないと他市町村に行かざるを得ない部分も実際はあるのです。一人でも多くの生徒が希望の高等学校に入学できることが、我々の課題ではないかと認識しています。

それで学力向上というのが大切だと、私はいつも研修会などで話しています。

富田委員。

○富田委員 こういう学習会を積み重ねることで、少しでも学力が上がっていくと良いですね。

○志田教育長 難しいのは、小学校ではなかなかその時間が取れないのです。昔は、できなければ学校に残ってやっていたますが、今はそれができないのですよね。

あとは、学校の授業は、平均的な学力を主に対象としているので、課題がある子どもを底上げする時間がなかなか取りにくいのです。

春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 小学校も工夫して取組はしているのですが、どうしても下校の時間を揃えなければいけないとか、安全面などもありますので、放課後残してというのは中学生と比べます

と難しいと思います。

**○志田教育長** 働き方改革のこともあるのですが、ただ、本来、学習面の対応については、減らしてはいけないので、ほかの部分減らして学習面の対策をしたいと思っています。授業が理解できていない子どもの底上げを図っていきたいと思っています。

春原総合教育研究所長。

**○春原総合教育研究所長** 一人一人に力をつけてあげるという視点が大切だということを、各学校に伝えており、そこに力を入れていこうということで進めているところです。

**○志田教育長** 個別に関わろうとすれば、どうしても時間がかかってしまうのですが、それをやらないと、なかなか結果が出てこないで、工夫しながらやっていきたいと思っています。

鬼澤委員。

**○鬼澤委員** 私のほうから、4点お聞きしてもよろしいでしょうか。

1点目は、先ほど来より話題に出ているICT化ということで、教育長のお話にもあったように、教員のスキルの個人差というのが結構大きいので、これは今後ずっと課題になるかと思うのですが、それ以外の部分で、このICT化を進めていく上で、今、課題になっているような事柄があるのかどうかということ、まず1点、お聞きしたいと思います。

それからもう1点は、通学時の子どもの安全対策という部分で、この答弁にあるように、吉田小は、もう数年前からヘルメットを活用していると思うのですが、それ以外の学校は、まだそういった状況にはなくて、水戸市としては、今後、全校の児童がヘルメットを着用しての登下校という形で推進していくのか、こちらには様子を見ながらとあるのですが、その見通しとしてはどのような見通しを持っていらっしゃるのかということをお聞きしたいと思います。

それから、部活動については、中学校の部活動が全員加入制なのかどうかということと、それから、今のところは休日の部活動を地域移行している点で教職員の負担を軽減していくという姿勢は分かったのですが、今後はさらに平日の部活動も、学校としての教育活動から切り離して運営できるようにするのかという、そのあたりの見通しについて、お聞かせ願いたいと思います。

**○志田教育長** 春原総合教育研究所長。

**○春原総合教育研究所長** ICT化についての御質問ですが、教員の指導力の差以外の部分ですと、効果的な活用ということが、課題になっています。今、子どもたちが日常の授業の中でタブレット端末を使う様子は見られているのですが、子どもたちの、より深い学びにつなげるためには、どんな活用をしていくべきなのだろうという段階に来ていると感じています。

また、部活動についての御質問ですが、部活動の加入につきましては、現在、全員加入制で実施している中学校はございません。また、国の提言では、まず休日を段階的に地域へ、その後は平日の活動も、ということで示されていますので、休日の取組をしっかりと踏まえまして、平日も移行していくような方向に進めたいと考えています。今の段階では、まず休日を段階的に地域へという、スタート地点と考えています。

**○志田教育長** 小川参事兼学校保健給食課長。

**○小川参事兼学校保健給食課長** ヘルメットの御質問について、御説明させていただきます。

現在、水戸市内でヘルメットを導入しているのは、先ほどお話のあった吉田小学校と下大野小学校になります。ヘルメットを被ることで、頭部を守るという意味で、非常に有効なものと考えておりますし、また、茨城県でもヘルメットを被ることを推奨している状況でございます。

毎年、県のほうからの調査があり、各小学校に市から調査をかけるのですが、現時点で、今年度、



このほかに1校が検討しているというような回答をいただいております。

ただ、導入に当たっては、学校の実情や保護者の御理解というところも違いがあると思いますので、市内一斉の導入ということについては、費用負担のことも含めて、学校長会と改めて協議をしていく必要があると考えております。

以上です。

○志田教育長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、この件について終わります。

次に、議事に入ります。

#### 【議案第36号 専決処分に対する意見について：非公開】

○志田教育長 次に、その他に移ります。

その他(1) 特別展「昭和ラブソディ 一杯の珈琲を飲みながら」の開催について、説明願います。

小川参事兼歴史文化財課長。

○小川参事兼歴史文化財課長 資料15ページをお開き願います。

その他(1) 特別展「昭和ラブソディ 一杯の珈琲を飲みながら」の開催について、御説明させていただきます。

1の概要ですが、昭和40年代にピークを迎えた高度経済成長は、本格的な車社会や市民のレジャーの多様化など、生活の効率化・スピード化をさらに促進させ、水戸市民の生活にも大きな変化を生じさせました。

水戸の街中では、百貨店やスーパーマーケットが並び立ち、大変な賑わいを見せ、喫茶店も急速に増え、市民の憩いの場となっていました。

本展覧会では、市内初のスーパーマーケットが開業した当時の様子や、喫茶店文化のアイテム「マッチ箱」に秘められた小さな歴史紹介など、珈琲を楽しむかのような昭和という時代を感じていただく展示を行ってまいります。

2の会期については、10月22日土曜日から11月27日日曜日までの32日間、月曜日は休館となります。

3の会場は、水戸市立博物館、4の主な展示資料といたしまして、当時使われていた喫茶店等のマッチ箱や水府うちわ、手拭いなどの展示がございます。

5の入場料は、一般200円です。高校生以下、65歳以上の方、身体障害者手帳等の所持者と付き添いの方1名は無料となっております。

6の主な関連行事として、昭和の時代を醸し出す曲で綴りますマンドリン・コンサートなど、多彩なイベントを開催いたします。

詳細は、添付しておりますチラシを御参照いただければと思います。

説明は、以上でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、この件について終わります。

以上をもちまして、本日の案件につきましては、全て終了いたしました。

その他、何かございますか。

菊池参事兼教育企画課長。

**○菊池参事兼教育企画課長** それでは、お手元に配付してございます、次回以降の教育委員会会議等日程（案）について、御説明いたします。

ゴシック体の部分が、今回、追加して記載した日程でございます。

初めに、第12回教育委員会定例会ですが、11月17日木曜日、午後5時から、こちら中会議室4で開催予定でございます。

また、12月1日木曜日、午前10時から、総合教育会議を開催予定でございます。

説明は、以上です。

**○志田教育長** その他、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**○志田教育長** ないようでございますので、それでは、以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。

御苦勞様でした。

午後5時36分 閉会

## 9 議決事項

議案第36号について原案可決